

I E 教育 説明資料

2017年1月1日・予定
(Next-G) 熊谷浩一

指導塾メニュー

分野		塾名	
Q	品質	Q-1	品質の基本
		Q-2	品質管理
		Q-3	品質改善
C	I E	C-1	IEの基本
		C-2	IE改善
		C-3	生産性向上
		C-4	動作分析
	製造原価	C-5	製造原価分析
D	リードタイム	D-1	リードタイム短縮
	在庫	D-2	在庫削減
F	評価	F-1	製造力アセスメント
	5 S	F-2	5 Sの基本
		F-3	5 Sの実践活動

C-1: I Eの基本

対象

生産技術者、製造現場責任者、設備技術者

形式

座学と演習指導／カスタマイズ可

狙い

「製造現場を改善し儲かる製造」を実現するため、改善理論と手法を習得する

ポイント

- ① I Eの学問的基本概念を理解する
- ② 改善手法の知識と技術を身に着ける
- ③ 改善課題の発見抽出法を習得する
- ④ 改善の勘所を演習を通じて体得する
- ⑤ プレゼンテーション力を高める

カリキュラム(案)

講義→演習→宿題→発表

第一日目

1. IEの基本概念

- ① IEの基本
- ② 改善の基本要素
- ③ 改善の評価（製造原価）

演習1－改善評価演習

第二日目
第三日目

2. 稼働の定義と稼働率分析

- ① 設備稼働の定義と稼働率
- ② 設備稼働ロスとロスの削減
- ③ 作業稼働の定義と稼働率
- ④ 作業ロスとロスの削減
- ⑤ IEとリーン生産
- ⑥ リーン生産の七大ロス
 - ・ つくり過ぎのムダ
 - ・ 手持ちのムダ
 - ・ 運搬のムダ
 - ・ 加工のムダ
 - ・ 在庫のムダ
 - ・ 動作のムダ
 - ・ 不良を作るムダ

演習2－稼働分析演習

第四日目
第五日目

3. 設備稼働

- ① 設備稼働の測定手法
 - ・ チョコ停とドカ停

演習3－改善評価演習

宿題1－自職場の設備稼働分析とロス抽出
発表1－宿題1

第六日目
第七日目

4. 作業稼働

- ① 作業時間の測定手法
 - ・ 動作時間分析
 - ・ ワークサンプリング
 - ・ ラインバランス
 - ・ 山積み表

演習4－作業時間分析演習

宿題2－自職場の作業時間分析とロス抽出
発表2－宿題2

第八日目

5. リーン生産七大ロスの現場指導

- ① つくり過ぎのムダ
- ② 手持ちのムダ
- ③ 運搬のムダ
- ④ 加工のムダ
- ⑤ 在庫のムダ
- ⑥ 動作のムダ
- ⑦ 不良を作るムダ

C-2: IE改善

対象

生産技術者、製造現場責任者、設備技術者

形式

現場課題の改善指導／カスタマイズ可

狙い

職場ごとに実際の現場課題を改善する
「改善手法の知識と技術」を身に着ける

ポイント

- ① 自職場の改善課題を設定
- ② 職場の現状をデータで客観的に認識
- ③ 改善目標を数値設定
- ④ IE手法を駆使して、改善案を立案
- ⑤ 改善を実行し、改善効果を評価

改善シートの作成

全六日間の日程で、A 3シートを完成・提出・発表

IE改善テーマ

1. 製造現場の実態把握

- ・対象職場名
- ・対象の生産品目
- ・製造工程フロー
- ・生産量実績
- ・生産タクト
- ・製造品質
- ・製造リードタイム
- ・仕掛り在庫

4. 分析手法の適用

- ・作業動作時間分析
- ・ワークサンプリング
- ・ラインバランス
- ・山積み表
- ・ロスの分析
- ・削減案立案
- ・効果予測
- ・実行スケジュール

2. 問題点分析と改善課題の設定

- ・顧客要求
- ・会社方針
- ・上司指示
- ・問題点の自己認識
- ・生産設備
- ・生産作業者
- ・改善課題
- ・改善スケジュール

5. 改善策立案、実行

- ・改善策の立案
- ・改善策の実行

3. 詳細分析と改善目標値設定

- ・設備稼働率分析
- ・作業稼働率分析
- ・作業動作時間分析
- ・現状レイアウト
- ・工程フロー
- ・設備配置
- ・作業者の配置
- ・改善目標値

6. 改善評価

- ・品質
- ・リードタイム
- ・投資
- ・原価
- ・安全
- ・総合評価

C-1 + C-2

講義・演習と実テーマ改善を同時進行

	第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回	第七回	第八回
日程	1日目	2日目 3日目	4日目 5日目	6日目 7日目	8日目 9日目	10日目 11日目	12日目 13日目	14日目 15日目
C-1	1 IEの基本	2 稼働の定義と稼働率分析		3 設備稼働		4 作業稼働		5 リーン生産 七大ロス の現場指導
C-2	キックオフ 事前 ヒアリング	1 製造現場の 実態把握	2 問題点分析 と 改善課題 の設定	3 詳細分析と 改善目標値 設定	4 分析手法の 適用	5 改善策 立案、実行	6 改善評価	改善 発表会